

慢性痛患者の麻酔

Anesthetic management for patients with chronic pain

*中條 浩介¹

*Kousuke Chujo¹

1. 香川大学

1. Kagawa University

慢性痛とは、「組織損傷後の推定治癒期間を超えて持続する痛みが3～6ヶ月以上に亘り存在するもの」とされており、日本人の十数パーセントが慢性痛を有しているという報告があります。このことより、本邦において手術を受ける患者さんの約1割は、何らかの慢性痛を有しているものと推測されます。

日々の臨床においてペインクリニック診療と手術麻酔を担当している筆者にとって、「慢性痛患者に対する麻酔」という題目は、ペインクリニック外来で治療する患者さんが手術を受ける際に、筆者自身が担当麻酔科医として対応すると想定した場合、どのような周術期管理計画を立てるかということに他なりません。

このリフレッシャーコースでは以下の項目につき言及し、慢性痛患者に対する麻酔に臨んだ際の基本的な知識の習得を目的とします。文献的な考察に加え、幾つかの自験例を紹介したいと思います。特に若手麻酔科医の先生方が、慢性痛患者に対する麻酔管理を自信を持って実践できる手がかりとなれば幸いです。

1. 慢性痛の概要

①定義 ②疫学 ③原因疾患 ④治療法 ⑤治療の実際

2. 慢性痛患者の術前問題点

①多様な鎮痛薬長期使用（非オピオイド鎮痛薬／オピオイド／鎮痛補助薬）

②潜在的臓器障害

③随伴症状（抑うつ、不安、不眠、食思不振など）

④心理社会的問題

3. 慢性痛患者の周術期管理

①術前使用鎮痛薬の周術期管理法

②術中オピオイド使用の留意点

③Acute pain serviceの重要性

4. 術後遷延痛（新しい慢性痛）は予防できるか？